

## 平成 28 年度 第 246 回教育研究審議会議事要録

**日 時** 平成 28 年 4 月 26 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30  
**場 所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、吉永事務局長、  
大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、  
龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、  
王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、  
佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、後藤評価室副室長

- 配布資料**
- 1-1 欠員補充申請書 (基盤教育センター)
  - 1-2 退職願 (国際環境工学部)
  - 2 名誉教授の称号授与にかかる経歴換算の見直しについて
  - 3-1 組織人事委員会の審議結果
  - 3-2 教育組織再編検討部会報告
  - 3-3 新学部構想(検討素案)
  - 3-4 北九州市立大学新学部設置準備委員会規程(案)
  - 3-5 新学部設置準備委員会 委員名簿
  - 3-6 【教育組織再編】今後の進め方
  - 4 本学学部から本学の大学院進学者に対する入学金軽減措置について
  - 5 平成28年度の研究不正防止計画及び責任者等研修の実施について
  - 6 科研費獲得向上に向けた試行的取組みについて
  - 7 平成27年度公開講座実施状況/平成28年度公開講座事業計画一覧
  - 8 台湾南部地震に対する募金活動結果について
  - 9-1 北九州市立大学における熊本地震に伴う支援策等に関する対策会議
  - 9-2 熊本地震に伴う対応について
  - 9-3 熊本地震による被災世帯の学生の履修等に関する相談について

### 第 1 号 教員の人事について

\* 資料1-1のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、平成28年3月31日付けで退職した長加奈子准教授の後任として、英語教育担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

\* 資料1-2のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、松永良一教授の平成29年3月31日付けでの退職について提案。

● 今後の授業体制はどうか。

○ 現在担当している授業、卒論生については本人が責任を持って担当する。また、大学院は担当しておらず、学生指導等教育面での継続性は問題はない。

○ 出来るだけ早い時期に平成29年4月1日付け採用の欠員補充申請を提案したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 第2号 名誉教授の称号授与にかかる経歴換算の見直しについて

\* 資料2のとおり、名誉教授の称号授与にかかる経歴換算の見直しについて提案

- 第227回教育研究審議会(平成27年5月19日開催)において、名誉教授授与の選考基準について、関連する職歴や研究機関での実務経験等の経歴換算を検討することが示されていた。
- 本学でも採用及び昇任時の資格選考における教歴には専攻分野に関連する職歴や研究員歴を換算しており、これと均衡を図るもの。
- 本学の教授として5年以上勤務した者に限り、本学の教授としての勤務年数に、教歴として認められる行政機関の職歴や民間企業における研究員歴について、1/3で換算し通算することとしたい。
- 平成28年度に行われる選考より適用する。
- 第5条に規定する行政機関の定義はどうなっているのか。
- 国や地方自治体及び地方独立行政法人等を想定している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 第3号 学部学科再編にかかる準備委員会の設置について

\* 資料3のとおり、学部学科再編に係る準備委員会の設置について提案

- 第3期中期計画を策定する中で、外国語学部を含めた教育組織改革を先行して取り組むこととし、このため教育組織再編検討部会を立ち上げ、漆原副学長に新学部構想を立案するよう指示した。
- 第16回組織人事委員会(平成28年3月8日開催)において漆原部会長より新学部構想(検討素案)の報告があり、審議を行った。また、第18回組織人事委員会(平成28年4月26日開催)でも再度審議し、1学部で検討する方向が示された。今後は組織人事委員会の下に、外国語学部を中心に「新学部設置準備委員会」を組織し、具体案を作成することとしたい。
- 準備委員会では新学部構想(検討素案)に示された方向性を尊重するとともに、組織人事委員会の意見を踏まえ、本学の教育をリードするような、大胆かつ魅力的な新学部を計画してほしい。
- 準備委員会委員に国際関係学科篠崎准教授が入っている。2学期に国内研修の予定が入っていると思うが、支障はないのか。
- 一次案の作成を平成28年9月までに行うこととしている。ここまで参加いただくということで了解を得ている。
- スケジュールにある外国語学部への説明はいつ頃になりそうか。
- 事務局で日程調整を行い、できるだけ早く説明をさせていただきたい。
- 平成28年9月に予定されている文部科学省との協議で、届出でよいのか、認可申請が必要なのかが決まるということか。認可申請となれば、全学的な資料が必要となる場合もあり、各部局で準備が必要となると思う。留意すべきことがあれば早めに教えていただきたい。
- 新しい学部の半数以上が現在の教員を異動させるような組織の場合は、届出でよい場合もある。文部科学省との協議を踏まえ、方向性を決めていきたい。認可の場合の留意すべき点として、名称と学位、カリキュラム体系のほか、教員一人ひとりの審査がある。いずれにしても必要に応じて、各部局と調整させていただきたい。
- 新学部構想では定員140名となっている。教員については外国語学部からの異動だけで対応可能であるということか。
- 基本的には外国語学部の教員を中心に考えている。今後、準備委員会での検討が進む中で他部局と調整が必要な場合は、適時調整し、ご報告したい。
- 法学部政策科学科の卒業後の進路や目的と新学部のもの重複する部分も多い。受験者が迷うことはないか。また、学内でもカリキュラムを組む時に悩む部分もでてくるのではないか。他の学部等のカリキュラムの方向性、見直しのスケジュールなども考慮したうえで検討をお願いしたい。
- 今後、準備委員会で組織全体を見渡し審議していきたい。具体的な検討が進む中で各学部の方向性や新カリキュラムとの調整もしていきたい。
- 副専攻の環境ESDプログラム等と新学部のコンセプトが重複している部分がある。副専攻について

も考慮いただきたい。

- そのようにさせていただきたい。
- 今回の改組は本学の将来にとって非常に重要な取組みである。その一方で、国立大学をはじめ、多くの大学がこのような国際系の学部を新設しており、競合する部分が多い。現在のニーズだけでなく、将来の見通しについても考慮してほしい。
- 今回頂いた意見も参考に準備委員会で検討していきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第4号 本学学部から本学の大学院進学者に対する入学金軽減措置について

\* 資料4のとおり、本学学部から本学の大学院進学者に対する入学金軽減措置について提案

- 優秀な本学学部生を本学の大学院へ進学させるための優遇策として、学部推薦制度と連動した入学金の軽減措置を平成29年度入学から導入する。入学金軽減措置の額は市内外とも141千円減額とし、対象人数は20人以内とする。
- 当面は、平成29年度入学生から3年間の試行実施とし、効果が認められない場合は、大学院のあり方を含めた抜本的な見直しを行う。
- 学生への周知はいつ頃始める予定か。
- 今回の教育研究審議会で承認後、役員会での承認を経て学生への周知を行いたい。
- 対象人数は北方キャンパスの各研究科の間で一部融通できるのか。
- そのように考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 報告

- ① 平成28年度の研究不正防止計画及び責任者等研修の実施について、資料5のとおり報告があった。
- ② 科研費獲得向上に向けた試行的な取組みについて、資料6のとおり報告があった。
- ③ 平成27年度公開講座実施状況及び平成28年度公開講座実施計画について、資料7のとおり報告があった。
- ④ 台湾南部地震に対する募金活動結果について、資料8のとおり報告があった。
- ⑤ 北九州市立大学における熊本地震に伴う支援策等に関する対策会議と対応について、資料9-1～9-3のとおり報告があった。
- ⑥ 次回の審議会を平成28年5月17日（火）に開催する予定である旨、報告があった。